

# CMSC JOURNAL

Vol.3



ランサーの速さをみせつけたJAF戦第3戦優勝の羽豆・田口組ランサーインタークーラーターボ

## '84CMSC全国大会を盛りあげよう

とき：8月4日(土)

場所：東北サファリパーク(福島県二本松市)

昨年の全国大会(7月30日)は久々の開催ということもあって、本部・支部より各クラブ代表者会員合計47名が集まって盛大な大会となりました。そしてみなさまから要望の強かった機関誌「CMSCジャーナル」も創刊され、本号では3回目の発行です。各支

部の活動も紙面を通じて紹介してまいりましたが、やはり北から西から全支部の方々の顔を合わせたの大会は、また格別の味があり、意義は大きいと思います。今年、去る5月に結成された「CMSC群馬」の仲間を加えての大会となります。

CMSCは、数あるモータースポーツクラブの中でも全国にその支部を持つ組織として、他に類を見ない独自のものとして高く評価されています。また、各支部の競技会開催、参加出場による活動はもとより、JAF地域協議会の要職につかれている方も多くいら

っしゃいます。今後さらにCMSCが日本のモータースポーツのリーダーとしての一翼を担うべく、この全国大会を有意義な意見交換の場としようではありませんか。





# CMSCだより

## 熱い期待を寄せてフレッシュにデビュー CMSC 群馬設立総会開催



かねてより設立準備が進められていたCMSC群馬がこのたび正式に発足。全国CMSCのラインアップに加わることになりました。

去る5月7日、群馬三菱自販(株)会議室において設立総会が開催され、群馬三菱自販からは大崎副社長をはじめ

山下営業本部長、木村サービス部長、そしてもちろん、CMSC本部からは外川会長も出席。また、JAFスポーツラリー小委員会高橋委員、登録クラブ地域協議会群馬黒岩支部長、同ラリー佐藤部長が。そして地元群馬からはJAF群馬支部松村次長、斉藤スポ

ーツ担当など、多くの来賓を迎え盛大な設立総会となりました。

CMSC群馬荒井会長は発会宣言をするとともに、

「当面、当CMSC群馬の事業計画は三菱車によるラリー、ダートトライアルなどの参加・出場を主な活動内容とします。将来、イベントの開催等幅広い活動を続けたいと思いますので、みなさんのご指導、ご鞭撻をお願いいたします」とあいさつ。

会員30名で発足したCMSC群馬の

今後の活躍が大いに期待されます。



荒井信介会長

## CMSC全国大会開催のお知らせ



今年も、CMSCダイヤスタートラリーを新趣向でその名も「ラリーアートトライアルINエビス」と改名して開催予定。その前日、8月4日(土)午後4時から、東北サファリパークレストラン2階にて、CMSC全国大会を昨年と同じようなスケジュールで開催を予定しています。なお詳細は、最終決定次第ご案内いたしますのでふるってご参加ください。

昨年の全国大会では、みなさまからいろいろなお意見、ご要望が交わされました。その中のご要望に応え、CMSCジャーナル誌が発行され、またランサーターボスポーツキットの支給が行なわれるなど、皆さまの活動に役立てただけなことと思います。また、昨年の全国大会後に発表されたインター

クーラ車の全国での活躍ぶりなども報告していただくつもりです。

一方それぞれの地域において、各CMSCは、競技会開催など多方面にわたって活躍しておられます。各支部とも地域性を生かしたオリジナリティあふれる活躍ぶりが魅力となっています。地域性や各個性をふまえた上で、将来につながる希望、要望を活発に話し合い、コミュニケーションを十分に満たす充実した大会にしたいと考えておりますので、今から大会のための万全な準備をお願いしたいと思います。

全国のCMSCの会員の皆さんが、親しく一同に会し、ふれあいの和を大きく広げることには意義があります。昨年の大会よりさらに内容濃い大会にしようではありませんか。



昨年のCMSC全国大会

### '83JAF懸賞論文入選!!

#### おめでとう! CMSC栃木の町田徹雄さん。

「モータースポーツの社会性」と題した町田さんの論文が、'83JAF懸賞論文の優秀作品にみごと選ばれました。自動車文化のゆがみから、モータースポーツの孤立化が起こったとし、ラリーやダートトライアルの重要性を指摘した内容が高く評価されたものです。(この論文は59年1月に発行された「日本のモータースポーツの将来」に掲載されています)

## 84道東氷上シリーズ

氷点下の続く北海道。'84の幕明けは氷上イベントから始まります。このシリーズも今年で4年め。今回もシリーズ4戦が生まれ、氷上での熱いポイント争いが行なわれました。

当クラブでは練習、セッティング、サービスの充実など万全の体制でシリーズに挑み、シリーズ中延べ53台と大量エリトリートしました。

その結果、氷上の花というべき特殊タイヤ部門(別名チューリップ)R II

## '84 ラリーア

CMSCえびす大会は今年で8年目を迎えますが、年を追うごとに三菱ファンをはじめ一般スポーツマンからの人気が高く、今や夏の名物として定着し評価されていることは、皆さんご承知の通りです。

また、わが国のBライセンススポーツ振興としてダートトライアル競技の開発・発展に大きく貢献し東日本ダートクラブ連合の一翼として歴史を重ねてきました。今やダートトライアル競技はアマチュアレベルでは一番普及し、競技会開催数、参加者数は他のスポーツの中でも最高に位置します。我々の当初の努力は報いられ、大きく花開いた感があります。

このような背景や東日本ダートクラブ連合の要望もあって、今回よりCMSCえびす大会は一層「名物のお祭り」の色濃く企画されました。また、オールスター戦として昨年後半、今年前半の成績優秀選手を一同に集めまし